



令和4年度全国農業高等学校長協会北信越支部総会・研究協議会
令和4年度第46回全国高等学校農場協会北信越支部大会

農業高等学校長協会北信越支部研究主題
農場協会北信越支部大会スローガン
「持続可能な未来のために社会課題
関心を持つ子どもたちに育てよう」

全国高等学校農場協会北信越支部大会、講師として参加。

「持続可能な未来のために社会課題に関心を持つ子どもたちに育てよう」左記テーマを大会スローガンに、新潟市において、富山・石川・福井・長野・新潟の農業に関する学科又はコースを置く高等学校の教員の皆様に参加される第46回目となる研究大会です。ミライ発酵本舗として参加するにあたり、弊社がすすめる「発酵くらし」について講演をして参りました。

「発酵くらし」とは、発酵的なライフスタイルという意味です。微生物たちが営む発酵現象に気づきを得て人生や社会における豊かさの意味を問い直し、わたしたちの生活態度や行動様式を共生、循環、協創にかなうものに再構築しようとするものです。発酵というとまず食のイメージが浮かびますが、発酵くらしの対象には、衣食住、健康、文化芸術など幅広い分野をとらえています。様々に存在し生まれる「線」が「発酵くらし」のもとに集結し交じり合いその接続部に「点」があらたに生まれます。その現象が連続する様は、発酵のプロセスのようであります。そして熟成され「面」として表出されるのだと思います。それが、発酵くらしのまちの風景です。

HAKKO

Vol. 12

2022.09

かわら版

ミライ発酵本舗

近者悦、遠者来



長岡農業高等学校新聞部取材

宮内・撰田屋での出来事や、向後のミライ予想図まで、高校生のみなさまより取材を受けました。

取材は多岐にわたり、大人と若者の多様な交わりや、繋がり、それによって生まれるエリアコミュニティの構築など、オンラインノベーションを意識した内容でした。宮内・撰田屋に若いエネルギーとの関わりが深まっています。

まぎる つながる



蓋し（思想の）道は窮り無し。故に学も亦た窮り無し。

伊藤仁斎（江戸前期の思想家）

決して学びの歩みを止めない人は、齢を重ねることは老いではなくて、経験値を増し、いつまでも若さ溢れるということを教えてください。

おと、うまれる

MUSIC SAFFRON 2022

Afternoon Concert in Settaya 6th Avenue

09/11 SUN. 15:00~Masumi Yamamoto(ジャズコンサート)
会場：撰田屋の書街発酵ミュージアム・米蔵

10/22 Sat. 15:00~池田歌子&味方和子(第二重奏演奏会)
会場：撰田屋の書街発酵ミュージアム・米蔵

11/12 Sat. 15:00~アンサンブル・オビジー(弦楽四重奏演奏会)
会場：秋山孝次ターミネーション
(第二楽章の録音は、本館の録音室にて収録されています)

チケット ¥1,000 定員30名(※要予約)

おと、うまれる

ミュージックサフラン

学びの秋、芸術の秋、秋にはいろいろな形容があります。また、秋（あき）は秋（とき）とも読みます。この秋（とき）この場所でのしか体験のできないことが、宮内・撰田屋ではうまれていきます。後期ミュージックサフランでは宮内2丁目の秋山孝次ポスター美術館・長岡でも開催いたします。おとのまち、宮内・撰田屋が定着して参りました。